

福岡県 高校入試情報

令和7年度福岡県入試の全体傾向

- 大問構成、問題数について
- 大問は地3・歴2・公1の計6問。問題数は昨年と同じ。地1問増。公1問減。
- 小問数は32問（昨年は43問）。
- 文章記述問題は12問（昨年は11問）。
- 出題傾向について
- 各分野とも資料を使った問題が多く、資料数も多い。いろいろな資料に触れておく。
- 地理分野では、統計資料から州・県などを特定させる問題が出題された。
- 歴史分野では、並べ替え問題が2問出題されている。

★福岡県の入試は、『社会の新研究』でバッチリ！

資料読み取り問題の出題

・様々な統計資料から州や県を特定する問題が出題されているため、複数の資料に慣れておくことが必要。



新研究で対策！

- 解説ページの「入試によく出る資料読取」コーナーで、よく出る資料の読み取り問題を出題しています。
- 「フォロー特集 わかる！さまざまなグラフの読み取り方」(p. 24～25)で、いろいろなグラフの読み取り方をおさえられます。
- 「資料活用問題に強くなろう！」(p. 178～183)は、例題で読み取りの基礎をおさえたあと、最新入試問題で練習ができるように工夫しています。

歴史の時代関係の問題の出題

・例年、歴史でおもなできごとの並べかえ問題が出題されているため、テーマごとに歴史の流れをおさえる対策が有効。



新研究で対策！

- 「特集 流れでみる歴史」(p. 114～119)で、同時代のできごとを整理。「ふりかえりチェック 歴史年表編」(p. 120～121)で、すべての時代の流れをつかむことができます。
- 「並べかえ問題に強くなろう！」(p. 190～191)では最新の入試問題で並べかえ問題がしっかり練習できます。

★新研究で出題した福岡県の入試問題(令和7年度)

◆p.7 大問3 ◆p.17 大問3 ◆p.35 ◆p.51 大問4 ◆p.81 大問2 ◆p.185 大問5

福岡県の入試傾向に完全対応！
新しい『社会の新研究』をお薦めします！



★福岡県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

単元名／項目		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
出題内容別の傾向	地理的分野	世界の姿	●		●
		日本の姿	●	●	●
		世界各地の人々の生活と環境		●	●
		アジア州	●	●	●
		ヨーロッパ州, アフリカ州		●	●
		北アメリカ州, 南アメリカ州, オセアニア州		●	●
		地域調査の手法			
		日本の自然, 人口	●	●	●
		日本の資源・産業, 世界との結びつき	●	●	●
		九州地方, 中国・四国地方	●	●	●
		近畿地方, 中部地方	●	●	●
		関東地方, 東北地方, 北海道地方	●	●	●
	歴史的分野	文明のおこりと日本			
		古代国家の歩み	●	●	●
		中世社会の展開	●	●	●
		ヨーロッパ人との出会いと全国統一			●
		近世社会の発展	●	●	●
		近代ヨーロッパと日本の開国		●	
		近代日本の歩み	●	●	●
		二度の世界大戦と日本	●	●	●
		現代の日本と世界	●	●	●
出題形式別の傾向	公民的分野	現代社会と私たちの生活		●	
		個人の尊重と日本国憲法	●	●	●
		現代の民主政治, 国会	●	●	●
		内閣・裁判所, 三権分立		●	●
		地方自治		●	
		消費生活と流通・生産, 市場経済と金融		●	●
		財政, 国民生活と福祉	●	●	●
		地球社会と私たち	●	●	●
		分野統合			
	出題形式別の傾向	大問数	6	6	6
		小問数	35	36	43
		記号解答	17	18	13
		用語記述	7	6	7
		文章記述	11	12	12
		作業・作図			